

## 真鶴町立遠藤貝類博物館

### 海辺から支える学校教育での「海の学び」

実施期間：2023年5月15日（月）～2024年3月25日（月）



#### 【事業の内容・目的】

- 市内の豊かな自然環境を活用した教育活動として「海の学校」事業を実施している。学校等の教育団体から依頼を受け、校外学習や総合学習での磯の生物観察やプランクトン観察を通して、体験的に海を学ぶ機会の創出を目指した。
- 海の学校事業の効果をより向上させることを目的として、出前授業を実施した。海の学校事業と合わせ事前・事後授業を行うことで、当日の学習効果の向上、事後授業での振り返りを行うことができた。
- 学校からのニーズに合わせたプログラムを実施可能であり、環境問題や地域産業との関わりなど、様々なテーマで事業を実施した。

## 活動の様子

### 1. 海の学校事業

【開催期間】 2023 年 4 月 19 日（水）～2023 年 10 月 27 日（金）

【開催場所】 町立遠藤貝類博物館・三ツ石海岸・琴ヶ浜海岸等

【参加者数】 合計 1127 人

【活動内容・目的】

- 学校団体と連携し、校外学習や総合、理科の時間を使っての磯の生物観察やプランクトン観察お林散策等の体験学習プログラムを実施した。
- 地域の豊かな自然環境を活用した体験プログラムであり、体験を通して海の自然や生物、環境問題等について学ぶことができるプログラムである。



自然豊かな真鶴の磯での生物観察を通して、海の生態系の豊かさを学ぶ機会の創出を目指した。町内の海洋教育専門のNPO 法人のスタッフと共に、安全に自然体験ができる環境を整えている。学校の理科や総合の授業、校外学習をはじめ様々な形で多くの教育団体に利用いただいた。



三ツ石海岸での磯の生物観察に加え、真鶴半島の照葉樹林（通称 お林）の散策を実施した。お林は、古くから地域の人々によって守られてきた森林であり、これによりその周辺部の海岸も人の手があまり加わらず豊かな磯が残された背景や、かつての石材業の形跡など、海と森と人との関わりを学ぶことができた。



真鶴町主催の夏休みのイベントとして、夜のプランクトン観察会を実施した。普段は目にすることのない小さなプランクトンを子供たち自身がプランクトンネットを用いて採集し、顕微鏡で観察した。日中とはまた異なる様々なプランクトンを観察することができ、真鶴の海の豊かさを実感することができる良い機会となった。



学校教員向けの研修として磯の生物観察プログラムを実施した。地域の海を知る機会の創出だけではなく、各学校で自然教育を実施する際により理解を深めてもらうための、事業の目的やプログラムの活用方法などの情報提供を行った。また、実際に先生に体験してもらうことで、真鶴町の自然資源としての海の魅力を紹介し、授業等での活用促進を目指した。

## 2. 出前授業の実施

【開催日時】 2023 年5月 15 日（月）～2024 年2月 29 日（木）

【開催場所】 神奈川県西部から中部にかけての小中学校等

【参加者数】 21 団体 1,340 人

【活動内容・目的】

- 海の学校利用校を対象に、学校に出向いての出前授業を実施した。
- 自然体験プログラムの事前・事後授業を通して、海の学校の学習効果の向上を目指した。
- 学校の学習に合わせたプログラムを実施し、地域学習や環境問題と絡めた授業を実施した。



海の学校での学習効果の向上を目的として、出前授業を実施した。

事前授業では、体験プログラムを実施する前に事前知識として身に付けておくべき海の環境や安全管理等について学ぶ機会とした。事後授業では、体験プログラムを通して学んだことをまとめる時間とした。さらに、地域の自然や文化、産業に関する内容や環境問題に発展した学習に繋げることができた。

自然の中での体験を通して何を感じ、何が学びとなったのかを振り返ることで、海や自然についての理解を深めることができた。

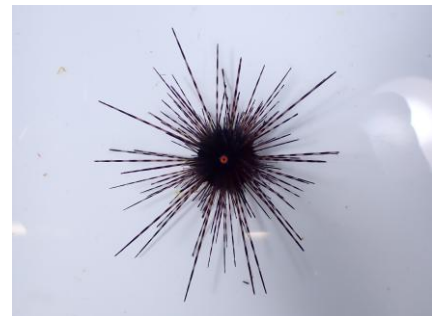
### 3. 海の学校利用校向けの教材開発

【開催期間】2023年5月15日（月）～2024年4月30日（火）

【開催場所】町立遠藤貝類博物館・三ツ石海岸等

【活動内容・目的】

- 海の学校事業や出前授業の機能強化を目的として教材の開発に取り組んだ。
- 今年度は学校での活用やデータ公開について整備するための準備として、真鶴の磯で生物の写真を撮影し、その画像データと種名について整理し保管を行った。
- プランクトン観察の際に使用する真鶴の海の代表的なプランクトンをまとめたシートをリニューアルすると共に、観察マニュアルを作成し、体験プログラムのさらなる充実化を図った。



近年の小中学校では、タブレット等の学習が一般化しており、データでの教材の必要性が高まった。そこで、真鶴の海で見られる普通種をはじめとした磯の生物を画像データとして蓄積していくことで、海の学校後の発展的な学習に対しても寄与することが期待できる。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



## 【事業全体のまとめ】

アンケート結果から、出前授業にて事前事後授業を実施したことにより学習効果が高まったとの声をいただき、より深い海の学びの提供と継続した海の学校利用に繋げることができた。また、海の学校及び事前事後学習の実施に合わせ、生物の画像や館内ワークシート等の教材の強化を行うことができたことでより充実した学習環境を整えることができた。今後は、より多くの学校に向けた海の学びの提供を目指し、活動を継続していきたい。

今年度を通して、海の学校事業のより広域での認知度の向上や町内外から町の教育の特徴として位置づけられるような取り組みの重要性を痛感した。

来年度以降は、認知度の向上やよりよい学習環境の整備に力を入れていきたい。

## 主な連携・協力先について

| 連携・協力先名称          | 連携・協力の内容 |
|-------------------|----------|
| 1. 横浜国立大学臨海環境センター | 施設利用等    |
| 2. 真鶴町教育委員会       | 学校との連携   |
| 3.                |          |
| 4.                |          |
| 5.                |          |

## 主な広報結果について

| 掲載媒体名 | 見出し、掲載日 |
|-------|---------|
| 1.    |         |
| 2.    |         |
| 3.    |         |
| 4.    |         |
| 5.    |         |

以上